

2024年度日本演劇学会全国大会 タイムテーブル

6月8日(土)		1日目	
9:00		受付開始 (リパティタワー10F)	
9:30-11:30	パネルセッション① 1103教室(10F) 築地小劇場(て)の抑圧 : 翻訳・ジェンダー・社会制度 萩原健(明治大学) マルティン・ノルデボルグ(イエーテボリ大学) 稲山玲(静岡文化芸術大学)	パネルセッション② 1105教室(10F) オラトリオと能における聖と俗、あるいは 彼岸と此岸の交錯 竹内晶子(法政大学) 瀬尾文子(国立音楽大学) 大崎さやの(東京藝術大学)	
11:30-12:30		昼休憩(60分)	
12:30-13:05	研究発表1 1103教室(10F) 司会: 中野正昭(淑徳大学) ①辻慎一郎(京都府立大学) 築地小劇場の舞台機構の改修過程とその 背景について	研究発表2 1105教室(10F) 司会: 中尾薫(大阪大学) ③佐藤和道(名古屋中学・高等学校) 日本人移民と能楽—ハワイ・ブラジル における事例を中心に	研究発表3 1106教室(10F) 司会: 近藤弘幸(東京学芸大学) ⑤川野真樹子(明治大学大学院) 坪内逍遙のオフィーリア
13:10-13:45	②羽鳥隆英(熊本県立大学/早稲田大学坪 内博士記念演劇博物館) 新国劇『赤穂浪士』(1929年)論 —澤田正二郎の「全体」観を基点に	④フェリペ・メンデス・ピント(大阪大学 大学院) 異文化間・インターメディア演劇の可能性 としての現代新作能	⑥奥景子(専修大学) オールド・ヴィックにおけるマイケル・ベント ールのシェイクスピア50年計画とその功罪
14:00-14:30		会場移動(15分) (グローバルフロント1F) 開会式 グローバルホール 会長挨拶: 小管隼人(慶應義塾大学) 担当校挨拶: 井上優(明治大学)	
14:30-15:30		〈基調講演〉 グローバルホール 哲学もしくは戦争(ポレモス)のドラマツルギー —ベケット/アドルノ、ジュネ/サルトル、そして— 合田正人(明治大学)	
15:40-17:50		休憩・セッティング(10分) 〈担当校企画①パネルディスカッション〉 グローバルホール パレスチナ/イスラエル、暴力と抑圧、そして演劇 渡辺真帆(ドラマツルグ、通訳・翻訳者) 村井華代(共立女子大学) 司会: 大林のり子(明治大学)	
18:00-20:00		懇親会 グローバルラウンジ (グローバルフロント17F)	
6月9日(日)		2日目	
9:30		受付開始 (リパティタワー10F)	
10:00-12:00	パネルセッション③ 1103教室(10F) 築地100年~その足跡の真の姿を探る~ 研究会50年を記念して 司会: 井上理恵(桐朋学園芸術短期大学名 誉教授) 阿部由香子(共立女子大学) 林廣親(成蹊大学名誉教授) 熊谷知子(早稲田大学坪内博士記念演劇博 物館)	研究発表4 1105教室(10F) 司会: 高橋慎也(中央大学) ⑦新井静(大阪大学大学院) ドラマツルギーとしての海外遠征—唐十郎 の1970年代前半戯曲作品をめぐって— ⑧寺尾恵仁(北海道大学) メタフィクションとしての糸操り人形— ITOプロジェクト『高丘親王航海記』 (天野天街演出)におけるフィグーア	研究発表5 1106教室(10F) 司会: 木下耕介(群馬県立女子大学) ⑨山崎明日香(日本大学) デジタルレプリカと民主主義:ハリウッドのス トライキで要求された俳優をめぐる諸問題 ⑩仮屋浩子(明治大学) スペイン黄金時代演劇における妻殺し (uxoricidio): 名誉と暴力
12:00-13:30		昼休憩(90分) 理事会 1084教室(8F)	
13:30-14:45		総会 1093教室 (リパティタワー9F) 河竹賞受賞式 受賞者挨拶 河竹賞奨励賞: 鈴木彩『泉鏡花の演劇 小説と戯曲が交差するところ』花鳥社	
15:00-17:00		休憩(15分) 〈担当校企画②シンポジウム〉 1093教室(9F) 浮世絵と芸能に見る明治—描かれた「戦争」と「文化」をめぐって 村瀬可奈(東京国立博物館) 神山彰(明治大学名誉教授) 司会: 伊藤真紀(明治大学)	
17:00		閉会式 副会長挨拶: 藤崎周平(日本大学)	